

# IPBES地球規模評価報告書SPM(2019年)の概要

## A.自然とその人々への重要な寄与(生物多様性と生態系サービス)が世界的に悪化

- **人は自然に依存**—**20億人**が木質燃料に依存、**40億人**が自然由来の薬を利用、**70%**のがん治療薬は自然由来か自然界から着想、**75%**の食料作物は動物の花粉媒介が必要、人為起源の大気中炭素の**60%**を生態系が吸収、調節機能や無形の恵みも
- **自然が急速に減少**—推定**100万種**の絶滅危機、水産資源、調節機能、無形の恵みの減少、作物・家畜の地域品種と野生近縁種の減少、**人類の将来の選択肢の喪失**

## B.直接・間接の変化要因が50年で増大

- **陸上の直接要因**—**土地利用**(油ヤシ農園・放牧等)、直接採取(熱帯林伐採等)、気候変動、汚染、外来種
- **海洋の直接要因**—**水産資源の乱獲**、海域利用(埋立等)、気候変動、汚染、外来種
- **間接要因**—**大量消費**、国際貿易、不平等なアクセスと分配、負のインセンティブ、伝統知識の減少

## C.2030年以降の持続可能性目標の達成に「社会変革」が不可欠

- **持続可能シナリオ**—**人口抑制**、エネルギー・食料・繊維・水の**生産・消費の変革**、**自然にやさしい気候変動適応・緩和策**、持続可能な利用と公平な利益分配

## D.これらの目標は、社会変革に向けた緊急で協調した努力により同時達成できる

- **既存の政策手段**の改良と迅速な導入、社会変革に向けた**個人・集団の行動を惹起**する新たなイニシアティブ

